

令和7年度 第3回学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和8年2月10日（火）15:00～16:10

2 学校関係者評価委員

近隣中学校長、PTA会長、PTA副会長、同窓会長、地域住民代表

3 学校職員

校長、教頭、事務長、教務主任、生徒指導主任、進路指導主任、保健主任、各学年主任

4 内容

(1) 校長挨拶

(2) 最終報告・意見交換

ア 各部・各学年の取り組み、年間反省と課題等の報告

・教務部・生徒指導部・進路指導部・保健部・事務部・各学年

イ 学校評価アンケート結果について

(3) 質疑・意見交換、大口高校への提言等

5 質疑・提言等

・タブレットの新2年生の購入について問題ないか。

→1年次は、県からの貸与、2年次からECサイトで商品の紹介し、各自で購入しているが特に問題はない。

・校則の見直しあるがどうなっているか。

→生徒会から頭髪、アルバイトの規定に関する要望があり、検討を行った。

・大規模改修によるトイレ使用について不自由はないか。

→使えるトイレの数が減少したため、従来来賓・職員用トイレとしていたものを生徒も使えるようにするなどして対応している。

・学校便り「茜雲」、ロードレース大会の練習の様子や大規模改修の足場設置など地域の話題になっている。生徒たちの元気な姿は、地域に活力を与えていている。

また、基礎学習の大切さをしっかりと教え続けてほしい。

・広報活動を生徒目線で発信するなど、教育の一環として生徒に任せていくことも大切である。

・先のことを考るの難しいかもしれないが、勉学の大切さを生徒たちに教えてほしい。

・アンケート結果の細かいところを取り残さないようにしてほしい。

・アンケート結果から生徒と保護者の意識の差がある設問もあり、したいことと求めていることの違いがあるのではないかと感じた。他者への思いやりや理解が大切であると考える。

・中学生の進路選択の観点からも小さな街の高校として盛り上げるためにも、地元に通わせる良さを伝えて、なかなか目に見えない成果もありますが小さいことの積み重ねを継続して行ってほしい。